

令和元年度
筑波大学基金
活動報告及び実績報告

国立大学法人筑波大学
事業開発推進室

令和元年度活動報告

■活動状況

筑波大学基金設置 10 年目となる令和元年度は、令和 5 年度の開学 50 周年を見据え、「創基 151 年筑波大学 50 周年記念基金」の募金活動を本格化し、地元企業や卒業生を多く輩出している都内の企業総計約 900 社を訪問した。その結果、口頭ベースを含めて、1 億 2 千 5 百万円の確約をいただいた。

また、海外同窓会に目を向け、台湾同窓会にアプローチを掛けた。

更に、学内体制強化のため、附属学校 11 校に対して、保護者を含めた広報活動を依頼した。

筑波大学基金の附帯事業としては、平成 27 年度開始の「筑波大学カード事業」、「筑波大学オリジナルワイン事業」、平成 28 年度開始の「筑波大学オリジナルコーヒー事業」、平成 29 年開始の「アンダーアーマーショップ事業」を引き続き実施した。

また、基金以外の事業として、平成 28 年度開始の「スーツ事業」、平成 30 年度開始の「ショッピングプラザ（サクラテラス）」事業、「嘉納治五郎・金栗四三特別展」を引き続き行った。

新たな試みとして令和元年度は、企業を対象した、「AI 研修」を産学連携部と連携して実施した。

トピックスとして、令和元年 9 月に熊本県との連携協定に基づき、本学陸上部駅伝チームが箱根駅伝予選会の直前合宿を熊本県で実施したことにより、26 年振りの箱根駅伝出場に繋がった。

また、卒業生等外部の方とコミュニケーションを密にするため、令和 2 年 1 月にアプリをリリースし、大学の情報を積極的に発信している。

■筑波大学オリジナルボルドーワイン事業

ボルドー大学との Campus-in-Campus (CiC) 協定締結を記念し、平成 27 年度より、同大学の関連シャトーで醸造しているワインの輸入販売を開始した。令和元年度は、赤ワイン 1,716 本と白ワイン 300 本を輸入した。

なお、販売会社である株式会社カクヤスには、売り上げの一部を筑波大学基金にご寄附いただくこととしている。

○販売商品

商品名	販売本数	販売価格
シャトー・クーアン・ルージュ 2014 (ファーストラベル赤ワイン)	1,716	4,054 円 (税込)
シャトー・クーアン・ブラン 2014 (ファーストラベル白ワイン)	300	4,869 円 (税込)

○売上額 4,482,161 円 (税込)

○販売会社 株式会社カクヤス (東京北区豊島 2-3-1)

代表取締役社長：佐藤順一 (本学第一学群社会学類：1981 年卒業)

○寄附予定額 令和元年度売上分に対し 1,000,000 円

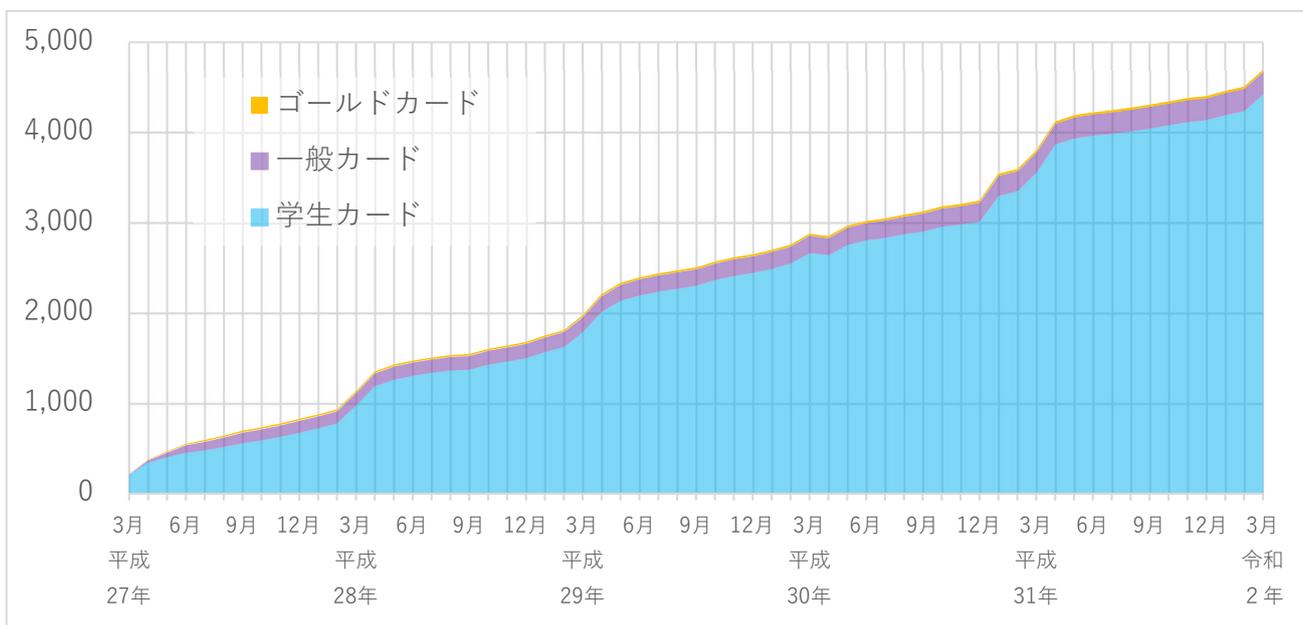
■筑波大学カード事業

三井住友カード株式会社と提携契約を締結の上、平成 27 年度より、大学関係者を入会対象とするクレジットカード機能付き大学カード（筑波大学校友会カード）事業を開始し、平成 29 年 1 月、「筑波大学校友会」が学外に設立されたことに伴い、「筑波大学カード」に改称した。5 年間でカードを 4,000 枚発行する目標があり 5 年目の令和元年度に目標数を達成した。

本カードの最大の特徴は、大学近辺の商店や飲食店、全国展開の大型店、ホテル等約 300 の店舗・施設においてカードの提示により会員特典を受けられることである。

なお、三井住友カード株式会社からは、本カードの入会数に応じたあっせん手数料、会員のカード利用額に応じた、取扱手数料を定期的に筑波大学基金にご寄附いただくこととしている。

○筑波大学カード累計受付件数推移



○累計受付件数 令和 2 年 3 月末現在 4,694 件

○寄附額

令和元年度内の筑波大学カード発行数に基づくあっせん手数料 402,900 円

令和元年度内の筑波大学カード利用額に基づく取扱手数料 2,615,017 円

■筑波大学オリジナルコーヒー事業

グローバル戦略及び世界展開力の一環として、サンパウロオフィスを開設するとともに、サンパウロ大学、サンタ・クルス病院と協定を締結した。その記念として、サンタ・クルス病院の理事長が所有する農園のコーヒーを輸入し、茨城県に本社のある株式会社サザコーヒーと提携し、平成 28 年度より販売を開始した。

なお、株式会社サザコーヒーには、売り上げの一部を筑波大学基金にご寄附いただくこととしている。

○販売商品

商品名	販売価格
筑波大学アリアンサエステートコーヒー 豆 200g	1,300 円 (税込)
筑波大学アリアンサエステートコーヒー カップオン (9 枚入)	1,300 円 (税込)
筑波大学アリアンサエステートコーヒー カップオン (5 枚入)	900 円 (税込)

○売上額 8,136,500 円 (税込) (平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月)

○販売会社 株式会社サザコーヒー (茨城県ひたちなか市共栄町 8-18 (本社))
代表取締役会長：鈴木誉志男

○寄附額 令和元年度売上分に対し 1,627,300 円 (販売価格の 20%)

■株式会社ドームとの連携事業

平成 28 年度に、アンダーアーマーの日本総代理店である株式会社ドームと包括的連携協定を締結した。この協定は、スポーツを通じて社会、地域、学生生活をより豊かにすることを大義とし、また、それぞれの資源、研究成果等を活用することを通じてスポーツの産業化、国民の健康増進及び未来を支える人材の育成に資することを目的としている。

株式会社ドームには、本学体育会各部の試合用ユニフォーム等を無償で提供いただいている。

○提携会社 株式会社ドーム (東京都江東区有明 1-3-33)
取締役会長 代表取締役 CEO：安田秀一

○寄附額 令和元年度内に現物寄附として 試合用ユニフォーム等 27,088,424 円

また、平成 29 年 4 月には、大学会館別館にアンダーアーマーショップがオープンし、本学が作成したスポーツエンブレムを使用したライセンス商品が取り扱われている。

株式会社ドームには、ライセンス商品の売りに応じ、本学に商標使用料を納入いただくこととしている。

○商標使用料 令和元年度分として 330,877 円

■有価証券による寄附

令和元年 1 2 月に有価証券による寄附を受入れた。この寄附は、有価証券の配当金をもって本学教育研究の活動支援に使用するものであり、筑波大学基金内に新たに設けた「現物資産活用基金」として運営を行っている。

有価証券の受入れについては、平成 30 年の税制改正により、個人からの株式等の寄附について非課税措置の手続きが簡便化されたところである。

○有価証券 MCUBS MidCity 投資法人 3 口 (348,600 円)

○寄附者 鈴木英明様 (茨城県つくば市在住)

[基金以外の事業]

■スーツ事業

平成 28 年度から学生・教職員等の福利厚生のため、学生の入学時や就職活動等で必要となるスーツ等の割引販売を紳士服大手企業 4 社（AOKI、コナカ、洋服の青山、はるやま）と提携した。本事業は、割引販売にかかる広報に大学が協力することにより、提携各社より商品販売価格の一部を手数料として納入いただくもので、受入金は学生支援等に充当する予定している。

○**手数料額** 令和元年度売上分に対し 4,535,121 円

■ショッピングプラザ（サクラテラス）事業

学生及び教職員等の福利厚生、利便性の向上に資することを目的として、筑波キャンパス南地区内にカスミ、サザコーヒーの 2 店舗を核とするショッピングプラザ（サクラテラス）を、平成 30 年 10 月にオープン後、2 年目を迎え、好評を博している。

○**事業期間** 平成 30 年 4 月 4 日～令和 20 年 9 月 30 日

■筑波大学交流広場事業の推進

筑波大学交流広場（旧称：筑波大学校友会）は、本学と卒業生・修了生、在學生、元教職員、教職員、課外活動団体及び各同窓会といった本学関係者との連携強化（交流促進、相互支援、最新情報共有化等）を目的として、平成 24 年 4 月から運用している SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）である。令和元年度については、学生を中心に約 3 千 7 百人に生涯メールアドレスを付与（平成 31 年 3 月末における会員数：約 4 万人）しており、活用される SNS として、更なるサービスの充実が求められている。

■筑波大学アプリの開発・運用

開学 50 周年に向け、スマートフォンアプリを介して大学の理念や歴史、在學生の活動状況等、様々な情報を発信することにより、ステークホルダーとの距離を縮め寄附に繋げることを目的に、令和 2 年 1 月にアプリをリリースした。

○**契約相手方** フラー株式会社

所在地：千葉県柏市若柴 178 番地 4 柏の葉キャンパス 148 街区 2 KOIL
代表取締役 CEO：渋谷 修太（本学理工学群社会工学類：2011 年卒業）

○**主な機能**

(1) ニュース機能

卒業生をメインターゲットに筑波大学に関する様々なコンテンツを配信。
主に大学 HP 上で公開されている情報等を配信予定。

(2) 寄附機能

■地域との関係構築

「学長を囲む会」として、大学と地域を結びつけることを目的にスタートした。

メンバー拡大に努め、研究成果や大学に関連する情報を発信し、地域との交流を深めた。参加者も増加し、毎回 150 名を超える規模となった。

また、令和元年 11 月に 50 回目の「学長を囲む会」を開催、学長特別講演をつくば国際会議場で開催し、200 名を超える会員を迎えることができた。

○**会員数** 306 企業／団体（令和元年 3 月現在）

○「学長を囲む会」開催実績

開催日	講演内容
平成 31 年 4 月 26 日（金）	図書館情報メディア系 落合 陽一 准教授 「<令和>でワイルドに研究するには」
令和元年 7 月 24 日（水）	「令和最初の甲子園 - 新たな一世紀に向けて -」 教育担当 清水 諭 副学長 体育系 川村 卓 准教授 オリパラ競技大会組織委員会 坂口 裕之様
令和元年 11 月 27 日（水）	学長特別講演「日本最初の高等教育機関から不断に価値を創造するトランスボーダー大学へ～Beyond the borders.～」 永田 恭介 学長 ※つくば国際会議場での開催

■嘉納治五郎・金栗四三特別展の開催

NHK 大河ドラマ「いだてん～東京オリムピック噺(ばなし)～」の放映に合わせ、平成 31 年 1 月～令和元年 12 月まで、体育ギャラリー等にて「嘉納治五郎・金栗四三特別展」を開催した。

大河ドラマの前半部分は、本学の前身である東京高等師範学校の校長を務めた嘉納治五郎と、師範学校の卒業生であり、日本人初の五輪マラソンランナーでもある金栗四三を中心に展開されており、脚本のスポーツ考証を、本学体育系所属の真田久教授と大林太郎助教が担当している。このことから、この特別展の開催は、東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催に先駆け、本学の歴史やオリンピック等を幅広く紹介し、本学のブランディングが図れること、大河ドラマやオリンピック関連の展示等により東京 2020 オリンピックの機運が盛り上がり、地域連携や地域経済の活性化に資することが期待される。

○**来場者数** 22,745 名（体育ギャラリー他 3 会場）

○**入場料収入** 1,838,800 円（体育ギャラリーのみ有料）

関連し、平成 31 年 4 月にドラマの出演俳優（2 名）による「大河ドラマいだてんトークツアー in 茨城県つくば市」を開催した。地域活性化を促進する交流イベントとして、全国から約 5 0 0 人の入場者が、好評を博した。

さらに、平成 30 年 12 月に金栗四三とゆかりの深い玉名市、和水町、南関町及び熊本県と本学との連

携協定を締結したことにより、令和元年9月に熊本県等の資金援助を受け、陸上部駅伝チームが熊本県で合宿を実施し、箱根駅伝出場に繋がったと思われる。

■寄附者への感謝の集いの開催

寄附者への感謝の意を表するとともに、寄附者と大学との交流を促進し、繋がりを強化する機会として、寄附者への感謝の集い「TSUKUBA FUTURESHP CREW'S MEETING」を開催した。

一般の寄附者向けとして、銘板に記載されている寄附者（個人10万円以上、法人50万円以上）を対象とし、令和元年12月に第2回を開催した。対象者約880名のところ、54名の寄附者に参加いただき、学長から高額寄附者への表彰や基金の活動報告、本学卒業生の戸邊直人氏（男子走り高跳び日本記録保持者 筑波大学大学院修了）の講演会を行い、懇親会で寄附者との親睦を深めた。

また高額寄附者向けとして、過去5年間で500万円以上または附帯事業で協力いただいている寄附者を対象とし、令和2年1月に第2回の「TSUKUBA FUTURESHP CREW'S MEETING for SPECIAL」を開催した。11名に参加いただき、弘山勉准教授（陸上部駅伝チーム監督）による箱根駅伝の報告会および懇親会で親睦を深め、更なるご支援をお願いした。

■卒業生との連携：筑波大学校友会

平成29年1月21日に設立総会が開催され、学外の同窓会組織として筑波大学校友会（会長：江崎玲於奈）が発足した。令和元年度は、ホームカミングデー、在学生、卒業生への支援をいただいた。会員は主に卒業生・修了生、在学生、教職員からなり、実施事業については、次の3点を掲げている。

- (1) 会員相互の交流と親睦に寄与する事業
- (2) 筑波大学との連携及び協力を推進する事業
- (3) その他本会の目的を達成するために必要な事業

■卒業生との連携：茗溪会

明治15年4月29日 当時の東京師範学校卒業生によって設立され、平成24年4月から一般社団法人茗溪会として活動しており、本学の開学当初から、多くの支援をいただいている。

また、平成30年4月に「茗溪・筑波産業人倶楽部」を発足させ、本学卒業生の産業界を中心としたネットワークの構築と本学学生に対する支援を開始し、令和元年度には、2回のキャリアカフェを開催した。

■卒業生との連携：筑波みらいの会

「筑波みらいの会」とは、平成24年度に立ち上げられた「筑波大学出身経営者の会（仮称）」が、平成25年5月の総会において正式に発足したものである。令和元年度も5月に総会を開催し、11月開催のホームカミングデーへの支援をいただいた。

同会は設立意義として次の3点を掲げている。

- (1) 会員同士が連携・交流すること
- (2) 会員から大学及び学生に対して貢献・支援・連携すること
- (3) 大学の成果・情報を会員に提供すること

○**会員数** 47名（令和2年3月現在）

■海外卒業生との連携

現在、13の国と地域に同窓会組織があり、約2,000名の会員いる。毎年1回、つくばで連絡会を開催して、連携を深めている。令和元年度には、副学長とともに台湾に出向き台湾校友会会長に「創基151年筑波大学50周年記念基金」について、1億円コース、3億円コースの寄附についてプレゼンを行った。

[その他大学の取り組み]

■READYFOR株式会社とのオフィシャル契約締結

クラウドファンディングサイト「Readyfor」を運営するREADYFOR株式会社とクラウドファンディングを活用した寄附獲得のための業務提携を開始した。クラウドファンディング事業者とのオフィシャル契約締結は、国立大学としては初の試みとなる。

○**担当部局** 財務部財務制度企画課

○**実績額** 令和元年度内に実施したプログラム（4件）に対する支援の総額として 28,640,000円

■エクステンション・プログラム

教育研究成果を社会に還元するため、「エクステンション・プログラム」を実施した。

令和元年度は、本学AIセンターの協力の下、企業を対象にした、「AI研修」を産学連携部と連携して実施した。今後、企業の研修パッケージの構築を目指して行く。

○**担当部局** 産学連携部産学連携企画課

○**実績額** 令和元年度内に実施した講座（23件）による売上の総額として 54,000,000円

令和元年度支援状況

■寄附状況

寄附の受入れは、4年連続2億円を超え、安定した収入になっている。

令和元年度は、一般基金において、昨年度に引き続き使途が特定された寄附金の受け入れ額が増大した。給与控除による寄附については、「創基151年筑波大学50周年記念基金」の開始に伴い、全体としての金額は大幅に増加した。古本募金による寄附について、件数は増加したものの金額は減少した。特定基金の獲得寄附金額推移については、50周年記念基金の営業活動と箱根駅伝本選出場により寄附が多く集まり、全体の金額は前年から増加している。

■令和元年度実績

集計期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日

○現金による寄附 199,673,968円 8,430件

区分	寄附額（単位：円）	件数
一般基金（「世界を変えよう基金」を含む…※1）	73,330,722	2,698
創基151年筑波大学50周年記念基金	33,378,384	2,652
筑波大学スポーツアソシエーション（TSA）事業	30,244,791	1,300
附属病院支援事業（40周年事業基金を含む）	13,893,000	34
紫峰会基金	36,730,206	1,399
留学生後援会基金	745,000	161
附属駒場中・高70周年基金	6,005,000	141
修学支援事業基金（「今川FUTURE基金」を含む…※2）	5,341,000	44
現物資産活用基金※3	5,865	1
合計	199,673,968	8,430

※1…「世界を変えよう基金」は、一般基金への寄附金として受け入れた資金を「筑波大学『世界を変えよう基金』（MDW基金）運営要項」に基づき運用。

※2…「今川FUTURE基金」は、修学支援事業基金への寄附金として受け入れた資金を「筑波大学学生奨学金制度つくばスカラシップに関する要項」に基づき運用。

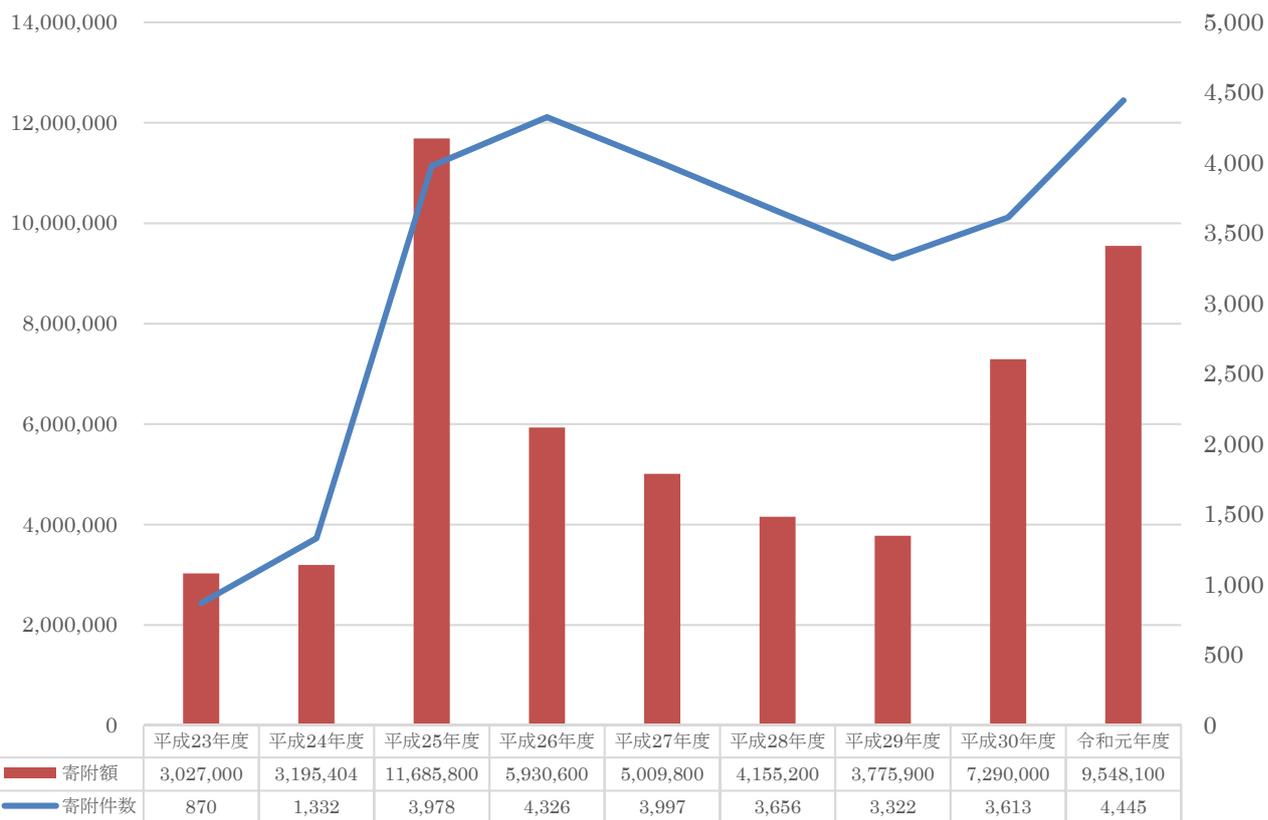
※3…現物資産活用基金は、有価証券（R1.12.18寄附受け）の配当金である。

○教職員向け給与控除による寄附実績

- ・件数 延べ 4,069 件
- ・寄附額 計 9,548,100 円

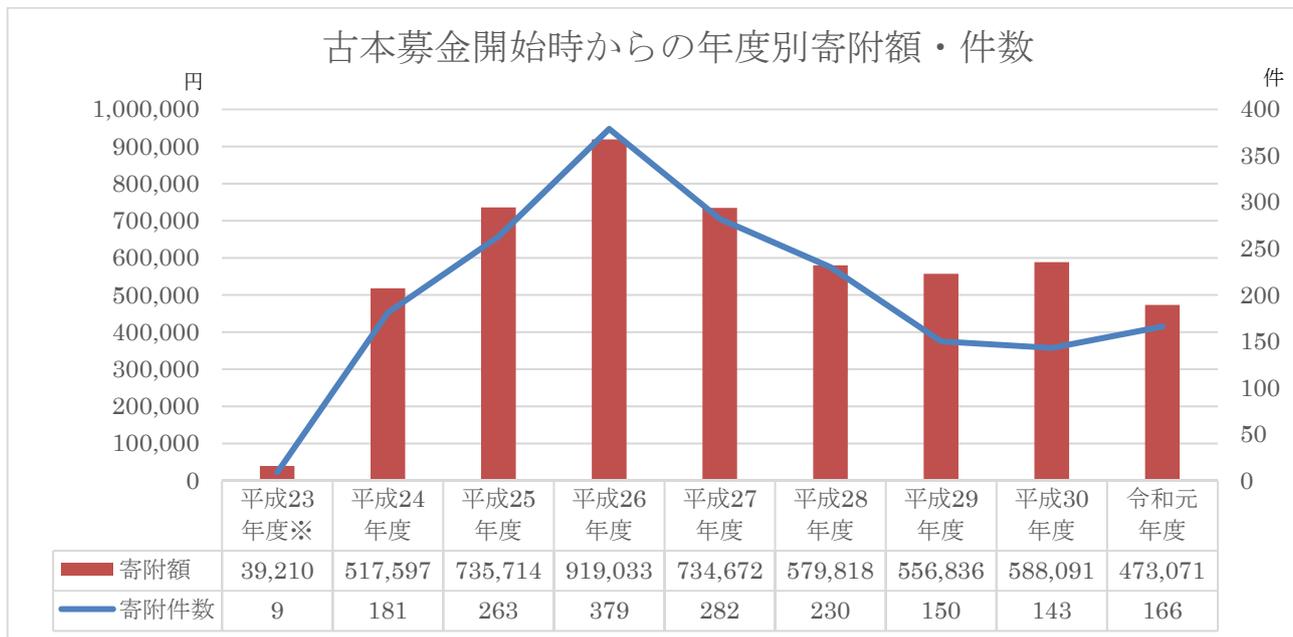
職種	登録者数
役員等	12
教員	138
事務職員・技術職員（非常勤職員を含む）	187
附属病院看護師	6
附属学校教員等	20
合計	363

給与控除による寄附開始時からの年度別寄附額・件数



○古本募金（一般基金の内訳として）

延べ 166 件 寄附額 計 473,071 円



※平成 24 年 3 月～

○現物寄附 2 件 27,437,024 円

- ・ 試合用ユニフォーム等 27,088,424 円
- ・ 有価証券による寄附（MCUBS MidCity 投資法人 3 口） 348,600 円

○預金利息

（単位：円）

行 名	普通預金利息	定期預金
三井住友銀行 つくば支店	153	—
三菱東京 UFJ 銀行 本店	170	—
常陽銀行 研究学園都市支店	3,074	—
筑波銀行 つくば営業部	75	—
中国建設銀行 東京支店	—	90,465
合 計	3,472	90,465

■一般基金からの支援状況

○用途特定分を除く一般基金から、令和元年度内に行った支援は次のとおり。

事項	支援実績額（単位：円）
宿舎祭	300,000
学園祭	1,000,000
スポーツ・デー	500,000
つくばスカラシップ	4,300,000
短期海外留学支援	5,300,000
附属学校の国際交流事業支援	3,000,000
海外キャンパスの整備・拡充	1,500,000
贈呈品制度「TSUKUBA FUTURESHP PREMIUM」	2,892,317
寄附者への感謝の集い開催	496,547
地域活性化を促進する交流イベント開催（いだてんトークショー）	2,991,600
50周年記念基金趣意書作成	957,000
筑波大学アプリ開発費	880,000
入金処理手数料等	854,154
執行額計	24,971,618

○一般基金に受け入れた用途特定の寄附金から、令和元年度内に行った支援は次のとおり。

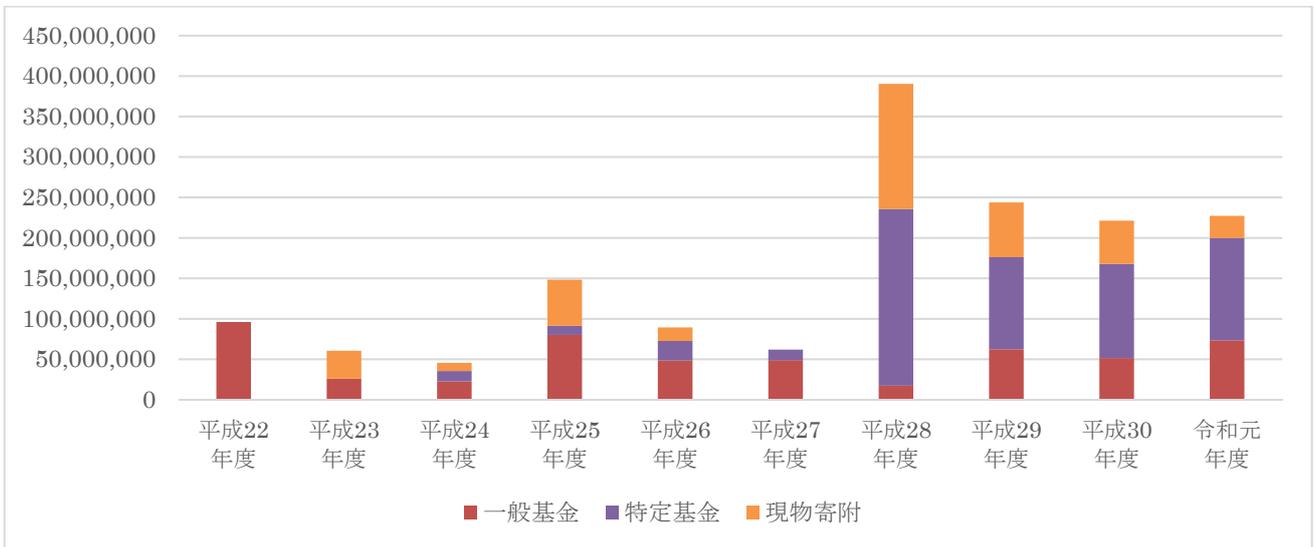
支援事項	支援実績額（単位：円）
茗溪・学都教育助成基金（学生生活課）	1,000,000
アーカイブ充実化のための支援（総務課）	100,000
学長と学生との交流会支援（学生生活課）	100,000
研究支援（人間系）	500,000
国際統合睡眠医科学研究機構	2,085,203
アスレチックデパートメント	17,000,000
体育会への支援	16,061,742
附属小学校	12,020,000
附属中学校	3,850,000
附属高等学校	10,000
附属視覚特別支援学校	5,498,886
附属大塚特別支援学校	100,000
執行額計	58,325,831

○「世界を変えよう基金」への寄附金から、平成30年度内に行った支援は次のとおり。

支援事項	支援実績額（単位：円）
途上国ボランティア参加支援	1,957,000
大学附属図書館図書購入支援	174,433
国際人材養成プログラム	112,500
執行額計	2,243,933

■基金設立時からの年度別寄附額

○年度別寄附額（全体）

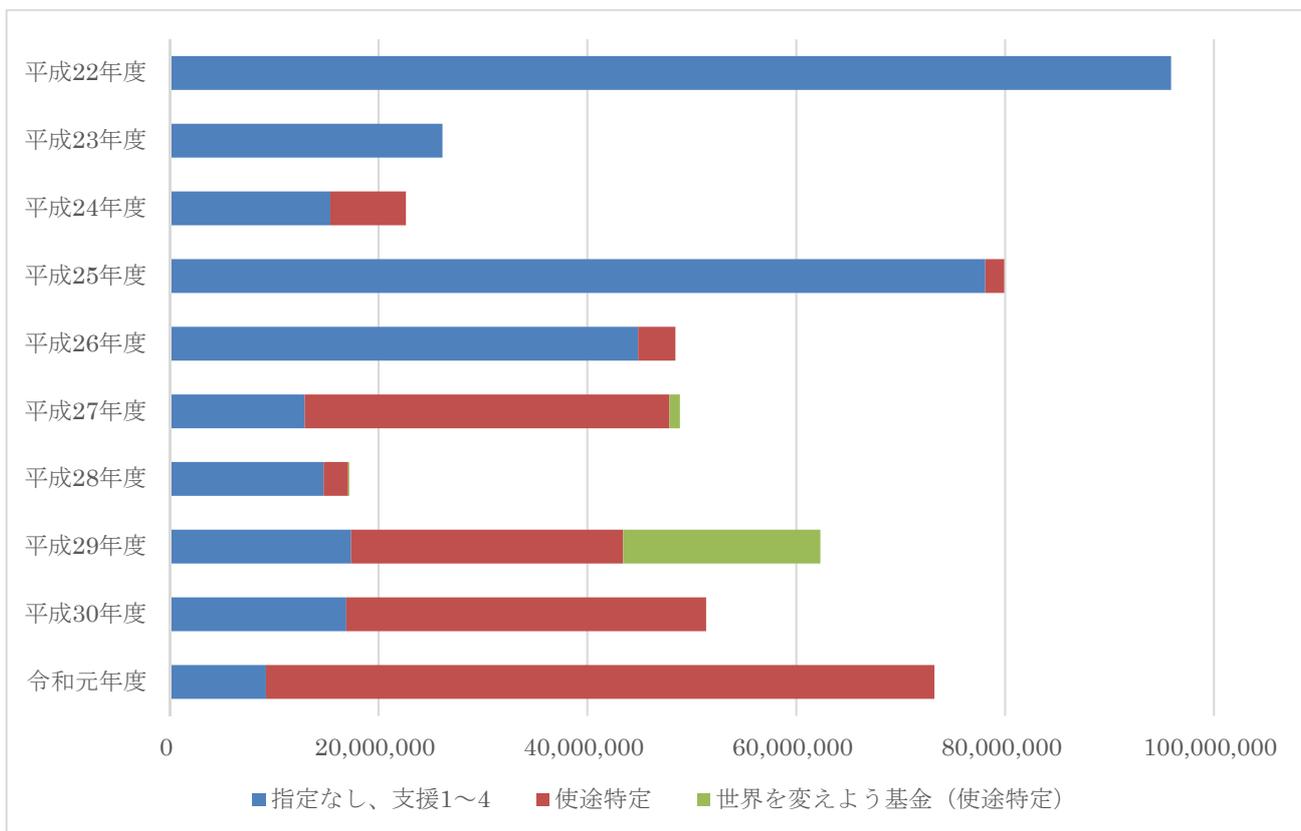


(円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
一般基金	95,905,932	26,127,250	22,624,007	79,921,162	48,438,663	48,865,983	17,205,694
特定基金	—	—	12,817,020	11,253,508	24,130,094	12,906,586	218,509,811
現物寄附	0	34,413,150	10,120,468	57,148,739	16,724,024	0	154,642,652
合計	95,905,932	60,540,400	45,561,495	148,323,409	89,292,781	61,772,569	390,358,157

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計
一般基金	62,322,192	51,380,049	73,330,722	526,121,654
特定基金	113,834,721	116,511,609	126,343,246	636,306,595
現物寄附	67,671,300	53,391,184	27,437,024	421,548,541
合計	243,828,213	221,282,842	227,110,992	1,583,976,790

○一般基金年度別寄附額

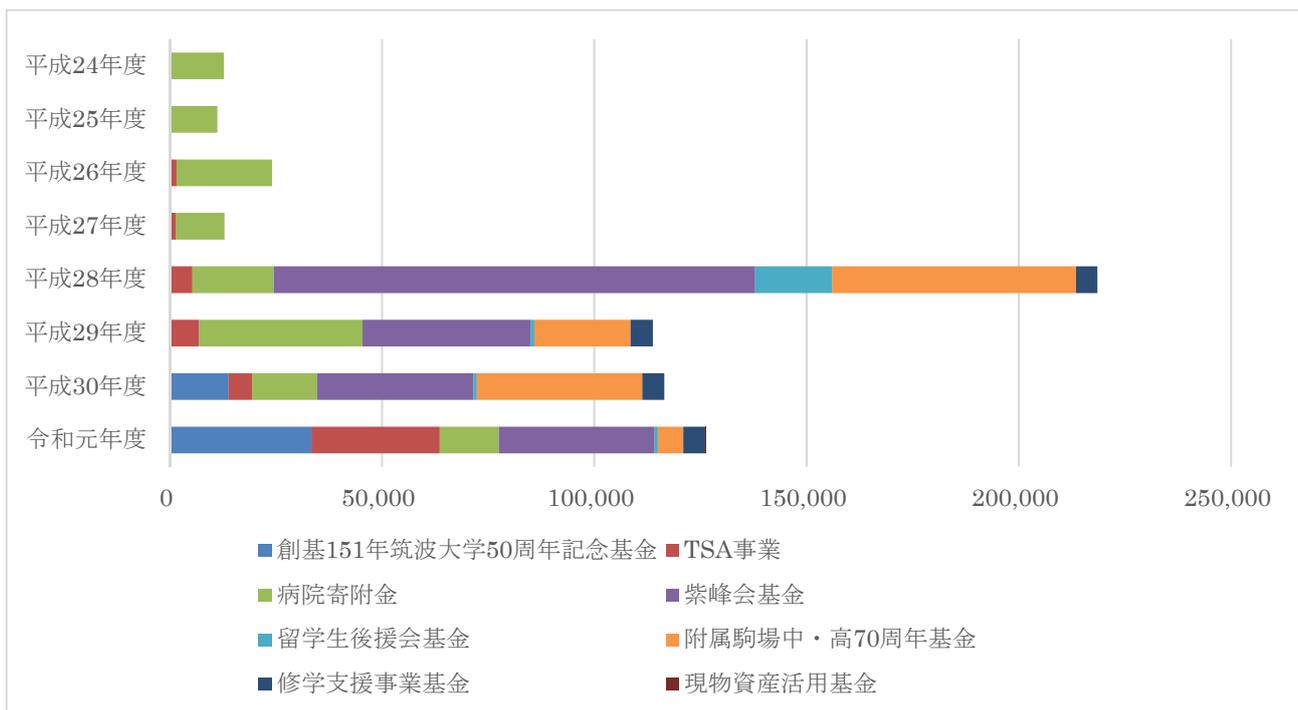


(円)

寄附目的	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
指定なし、支援 1~4	95,905,932	26,127,250	15,383,107	78,106,662	44,862,290	12,933,195	14,745,751
使途特定	—	—	7,240,900	1,814,500	3,576,373	34,932,788	2,359,943
世界を変えよう基金 (使途特定)	—	—	—	—	—	1,000,000	100,000
合計	95,905,932	26,127,250	22,624,007	79,921,162	48,438,663	48,865,983	17,205,694

寄附目的	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	合計
指定なし、支援 1~4	17,369,584	16,915,172	9,313,688	331,662,631
使途特定	26,052,608	34,464,877	64,017,034	174,459,023
世界を変えよう基金 (使途特定)	18,900,000	0	0	20,000,000
合計	62,322,192	51,380,049	73,330,722	526,121,654

○特定基金年度別寄附額



(円)

寄附目的	平 24 年度	平 25 年度	平 26 年度	平 27 年度	平 28 年度※	平 29 年度
創基 151 年筑波大学 50 周年記念基金	—	—	—	—	—	—
TSA	256,325	342,472	1,624,275	1,400,438	5,394,465	6,949,500
附属病院寄附金	12,560,695	10,911,036	22,505,819	11,506,148	19,099,165	38,482,592
紫峰会基金	—	—	—	—	113,416,016	39,569,000
留学生後援会基金	—	—	—	—	18,078,324	887,000
附属駒場中・高 70 周年基金	—	—	—	—	57,511,841	22,664,629
修学支援事業基金 (今川 FUTURE 基金含)	—	—	—	—	5,010,000	5,282,000
現物資産活用基金	—	—	—	—	—	—
合計	12,817,020	11,253,508	24,130,094	12,906,586	218,509,811	113,834,721

寄附目的	平 30 年度	令元年度	合計
創基 151 年筑波大学 50 周年記念基金	13,900,400	33,378,384	47,278,784
TSA	5,496,000	30,244,791	51,708,266
附属病院寄附金	15,344,500	13,893,000	144,302,955
紫峰会基金	36,835,650	36,730,206	226,550,872
留学生後援会基金	804,000	745,000	20,514,324
附属駒場中・高 70 周年基金	38,929,059	6,005,000	125,110,529
修学支援事業基金 (今川 FUTURE 基金含)	5,202,000	5,341,000	20,835,000
現物資産活用基金	—	5,865	5,865
合計	116,511,609	126,343,246	636,306,595

※平成 28 年度寄附額には、紫峰会、留学生後援会からの移行資産を含む。